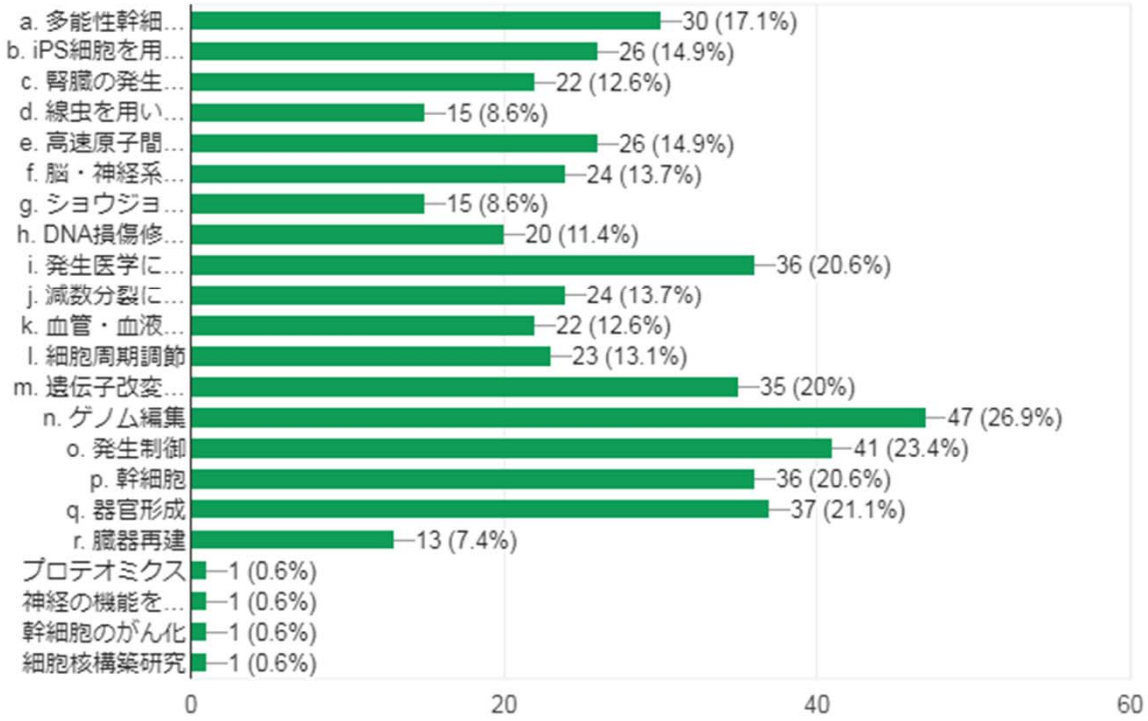
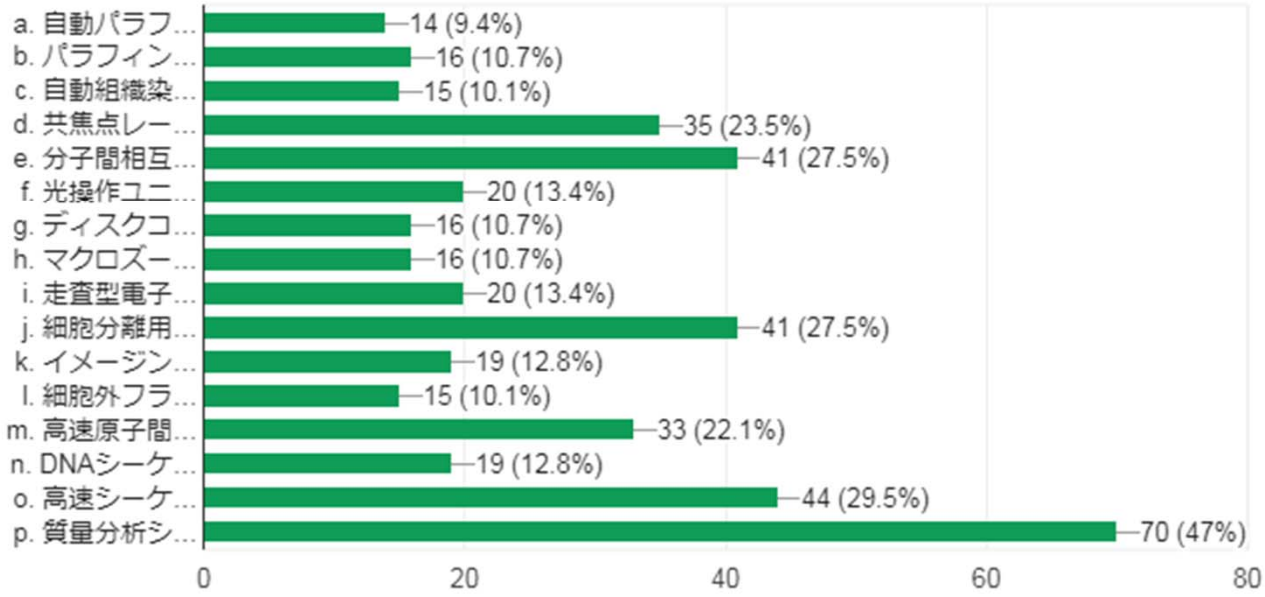
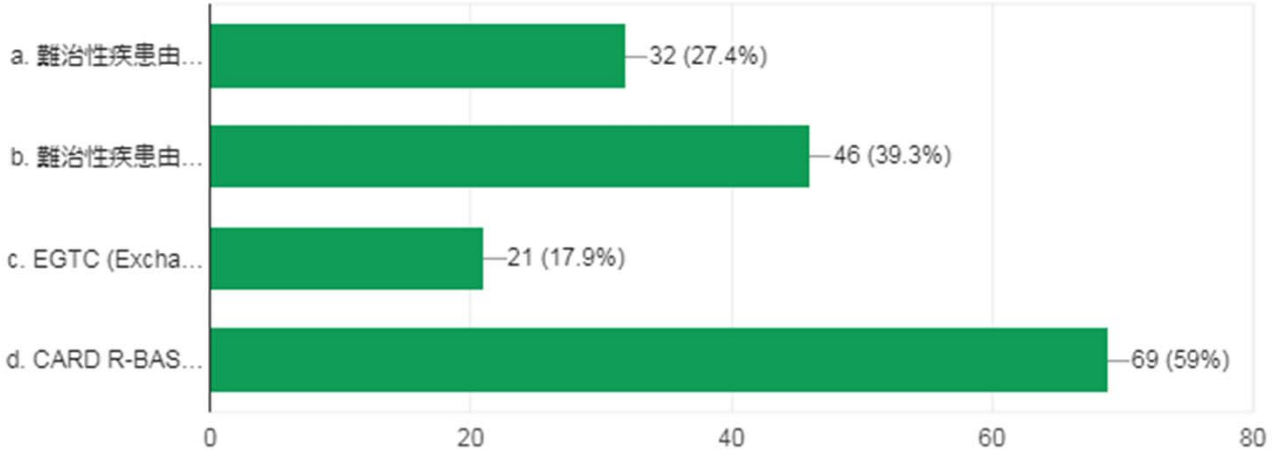
Q1. 以下の当研究拠点の特色ある研究のうち、ご自身の研究に近いもの、あるいはご関心のあるものを1つ以上お選びください。（複数回答可）
175 件の回答



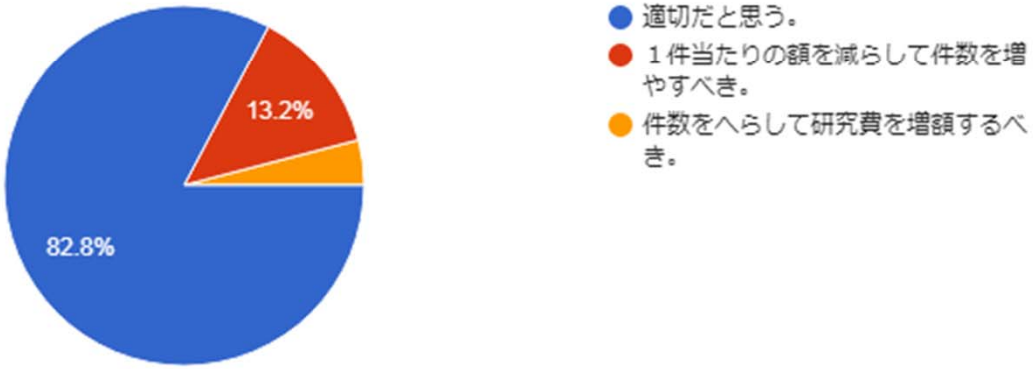
Q2. 以下の当研究拠点の研究設備・機器のうち、利用した、あるいは利用してみたいものをお選びください。（複数回答可）
149 件の回答



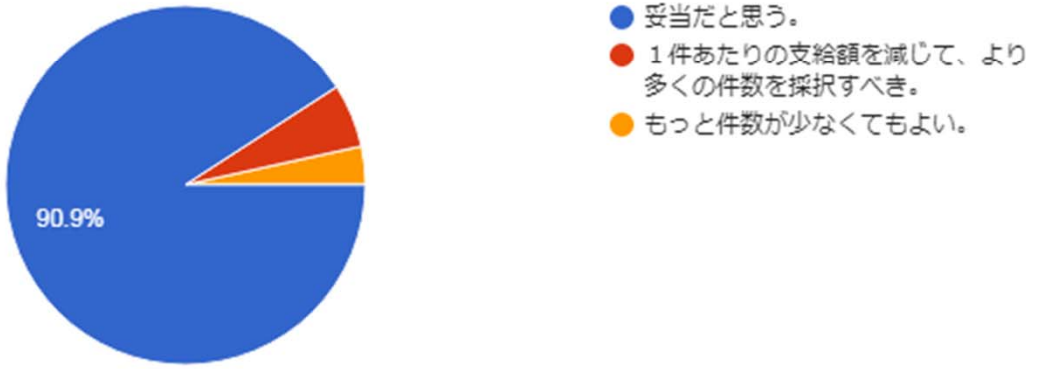
Q3. 当研究所が保有する以下の学術資料について、利用してみたいものはありますか。（複数回答可）
117 件の回答



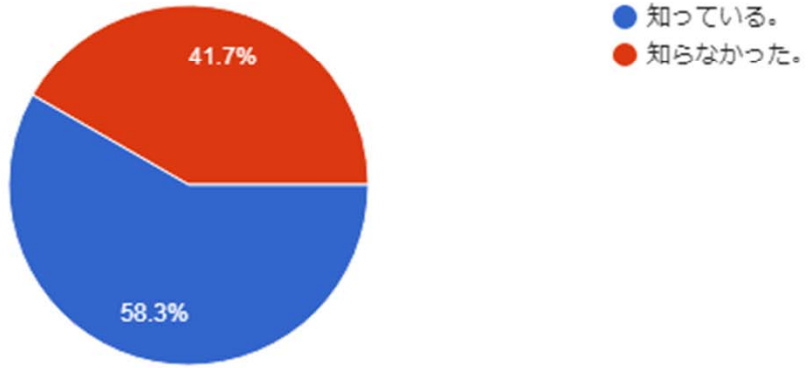
Q4. 当研究所の共同研究（研究費支援）は、第一期（平成22～27年度）は平均年9件、第二期に入り平成28年度16件、平成29年度13件で、一件あたり上限100万円の研究費を支給しています。これについてどう思われますか。
174 件の回答



Q5. 平成24年度より、当研究所に来所するための旅費（宿泊費含む：上限10万円）を支給する共同研究（旅費支援）を開始し、第一期は平均年22件、第二期に入り平成28年度16件、平成29年度20件採択しております。これについてどう思われますか。
175 件の回答



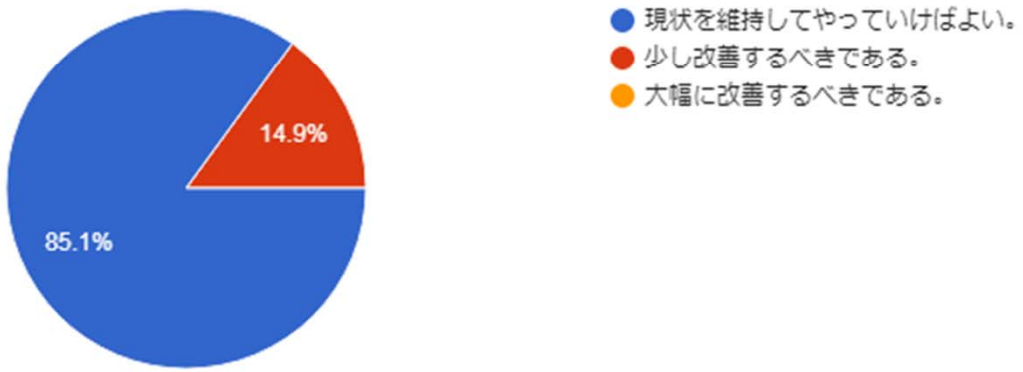
Q6. 共同研究拠点としての共同研究では、実際に当研究所に来所して研究することが原則となっていますが、これについてご存知でしたか。
175 件の回答



Q7. Q6についてご意見、ご要望があればご記入ください。10 件の回答

共同研究者と実際に会って議論できることは非常に素晴らしいことである。
そのような区分で数を制御するのは適切でない。研究の重要性で判断するのが良い。例えば、科研費に通っている研究である事、など。
good
専門の研究者と深く共同研究ができる機会として貴重である。
必ずしも来所を前提としないでも実質的に発生研の機器、ノウハウが利用されていることが明確であれば共同研究として認めてもよいのではないか？
実際に対面コミュニケーションできる良いシステムだと思います
N/A
来所しての研究以外も認めてほしい
来所せずともバーチャルな形でも進めたほうが効率的に研究推進できると思います。
予算を計上しているならば良いと思う

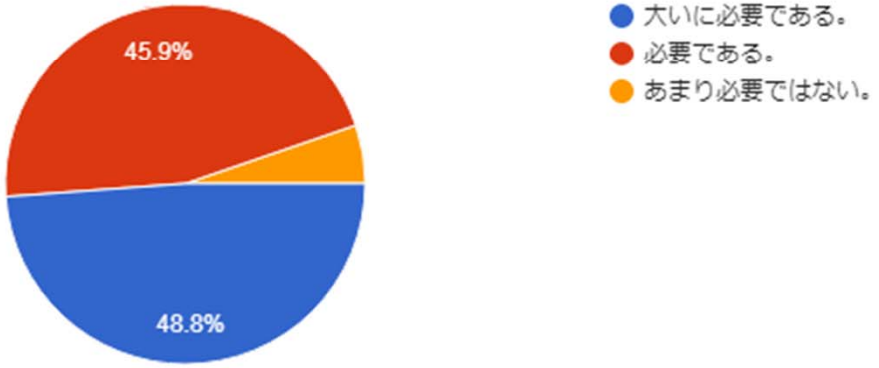
Q8. 当研究所の共同研究拠点としての今後の活動について、以下からお選びください。
174 件の回答



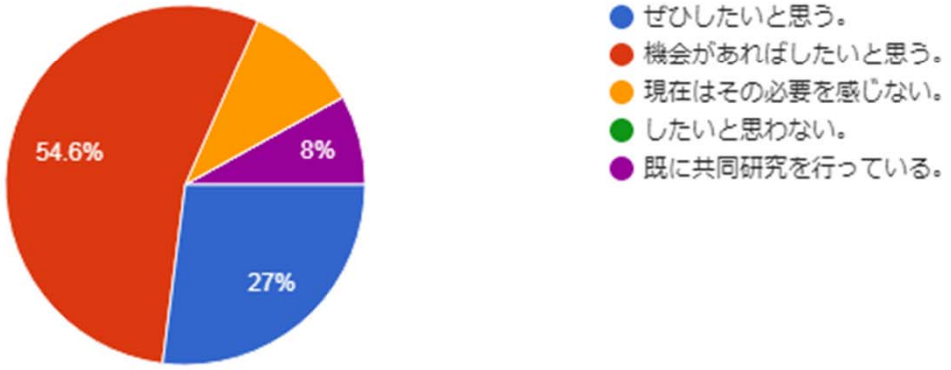
Q9. Q8について、ご意見があればご記入ください。13 件の回答

この枠組みで、共同研究を支援していただいたおかげで、嶋村先生、畠山先生にニワトリ胚の実験をご指導していただき、ニワトリ胚を用いた研究を開始することができて大変感謝しております。
是非これからも続けて頂きたい。
予算を増やして、他機関と広く交流するべき。
分野の拡大などの検討
should encourage the new researchers
発生研にしかないユニークな機器、サービスが必要。
全国的な展開も大事であるが、九州地区でのハブ的な役割が重要ではないかと考えます。
応募資格が不明瞭です。海外からの共同研究もいいのか、学内からも応募できるのか。
N/A
学外からの短期研修の受け入れをお願いしたい
研究拠点に関して知らなかった
発生医学研究の発展のために不可欠な拠点ですので益々のご活躍をご発展を祈念いたします。
臨床応用に向かう基盤づくりの「基礎研究」にこだわるのは良いと思う。

Q10. 当研究所の共同研究拠点としての活動は、ご所属の学会やあなたの研究分野にとっていかがでしょうか。
172 件の回答



Q11. PI（研究責任者）の方はもちろんですが、Non-PIの准教授、助教等の研究者の方も代表者として共同研究申請が可能です。また、申請書に記載することによって、申請グループに属する学生やポスドクも当研究所に滞在して共同研究することができます。ご自身が当研究所と共同研究してみたいと思いますか。
174 件の回答

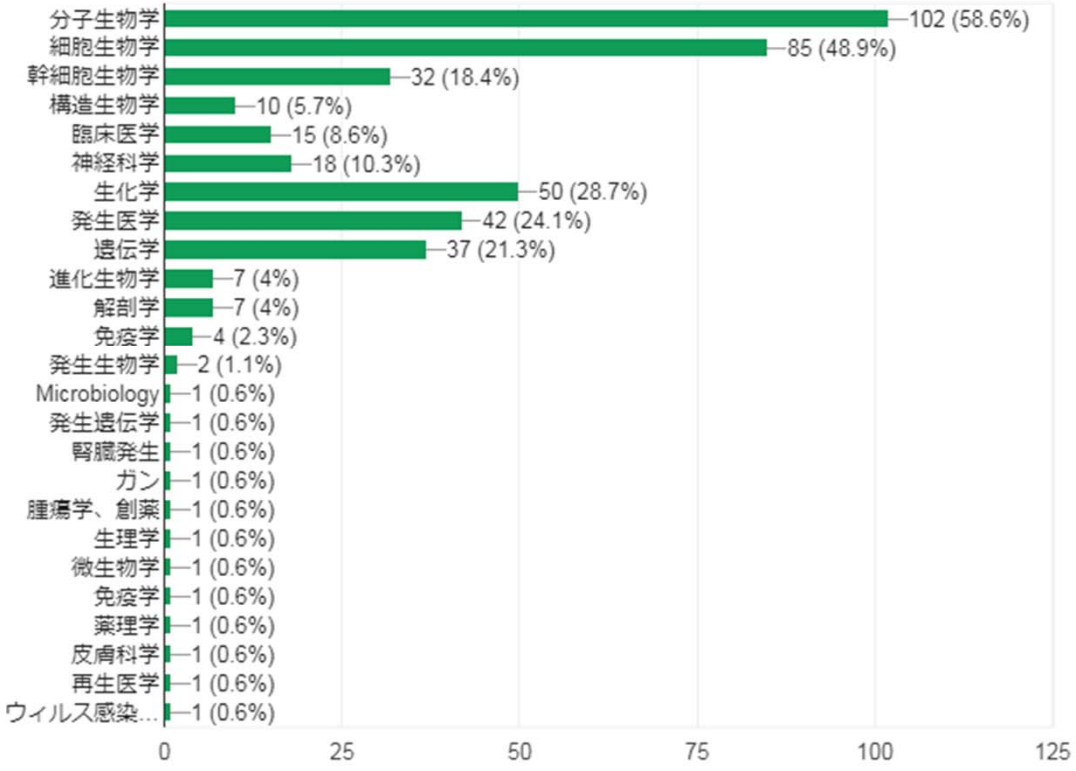


Q12. Q11での理由をご記入ください。22 件の回答

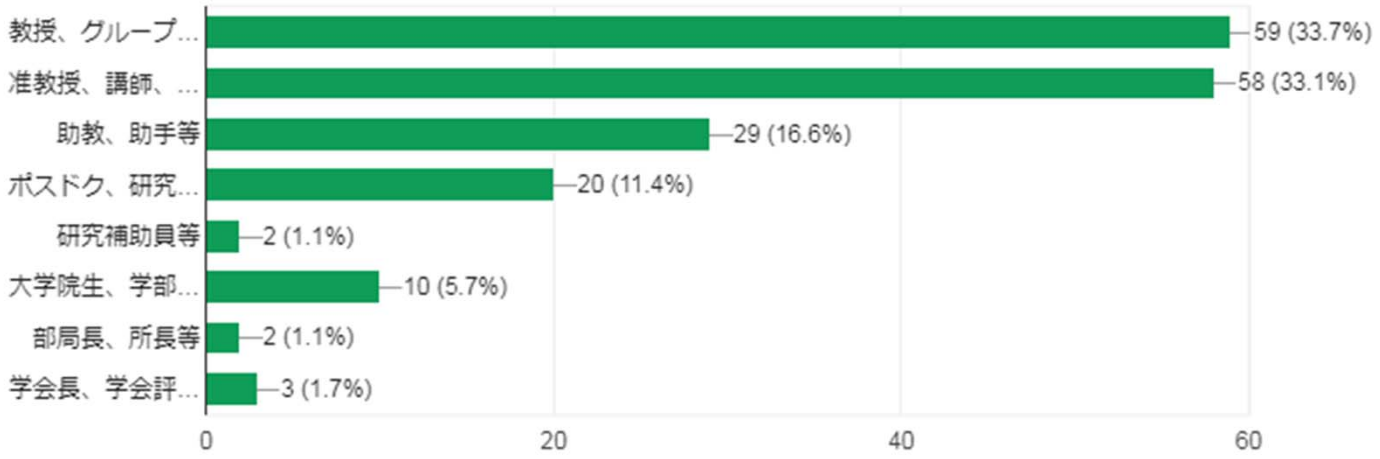
良い研究環境でまた議論を行いたい。
各分野のエキスパートがおられるから
既に共同研究を行っている。
小椋光教授がおられるから。
他の研究所での実験は様々な刺激を受けることができるから。
特に腎臓再生のための前駆細胞分化誘導法を独自で開発しており、できればそれを利用したい
マウス施設が充実している。
魅力的な研究内容、素晴らしい先生型が在籍されている
研究所どうし、および研究者どうしの交流を深めたいから
発生研の研究者やポスドクと論議ができるから。
独自性の高い、国際レベルの研究が可能であるから。
we need to learn different techniques and also need to familier with different machines
高いレベルでの研究をおこなう優れた研究者が揃っており魅力がある。
当方の設備のみではできない解析を提供しているためぜひ共同研究したい
現在企業の受託業務を担当しているため。貴研究所で確立されたiPS細胞の安全性評価などについては興味がある（染色体解析など）。

関連する研究者がほぼいない
関連した研究がなされているので
本活動について知らなかった。興味を持った。
具合的な研究要素が合致すればお願いしたい
研究テーマやお互いの研究興味がマッチするようであれば、是非共同研究させて頂きたく思います。
今まで知らなかったので利用できるのであればしてみたい。
チャンスがあれば共同研究してみたいです。
基礎研究をする環境が自社では整っていない。

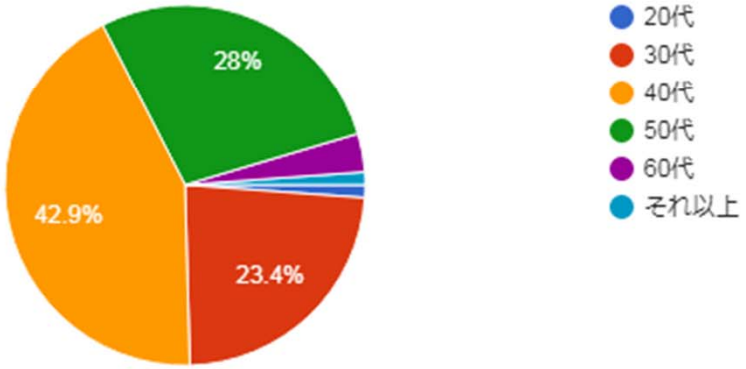
Q13. あなたのご研究分野は？（複数選択可）
174 件の回答



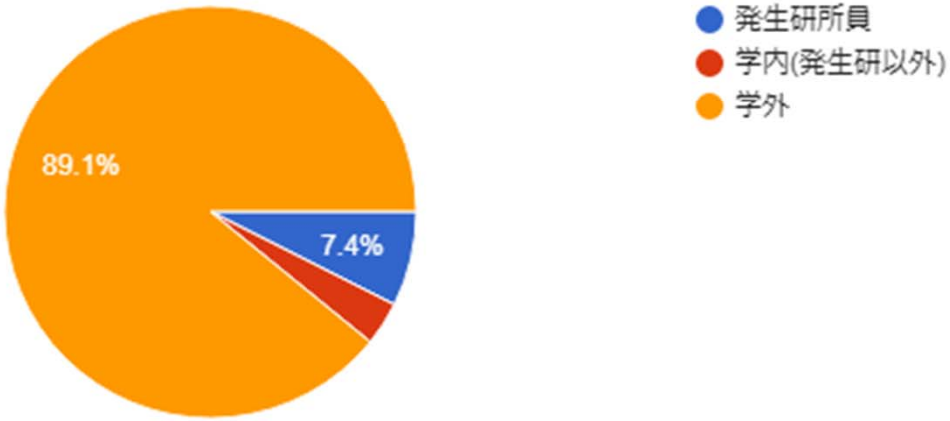
Q14. あなたの身分をお答えください。（複数回答可）
175 件の回答



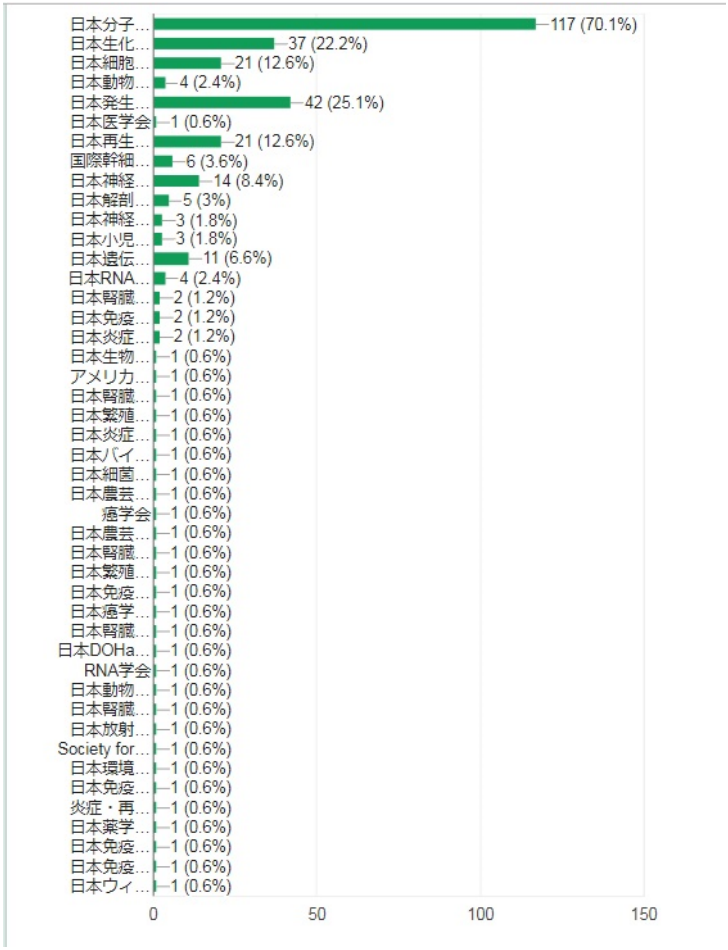
Q15. あなたの年齢は？
175 件の回答



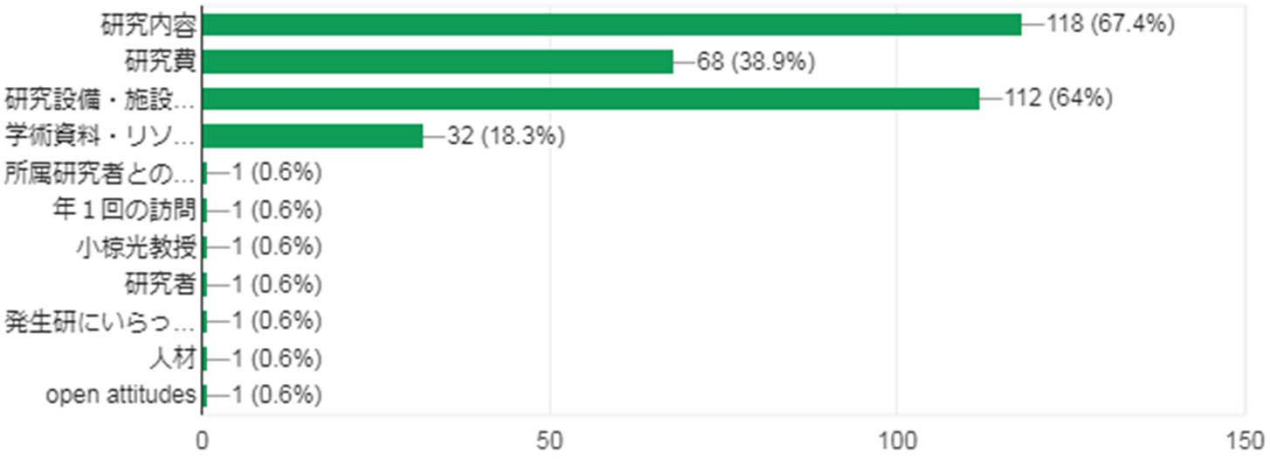
Q16. あなたのご所属は熊本大学の学内、学外のどちらでしょうか。
175 件の回答



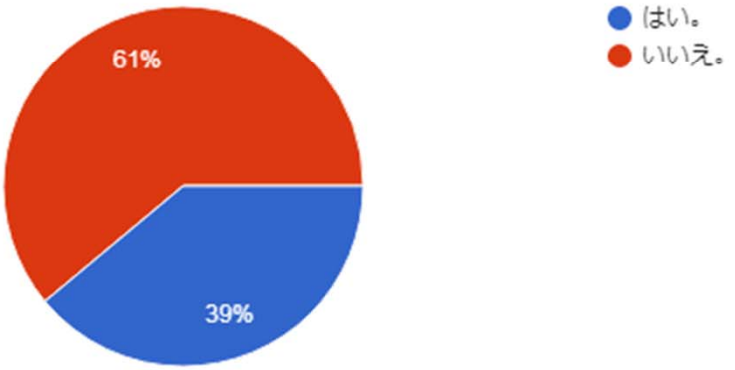
Q17. あなたのご所属の学会は？（複数回答可）
167 件の回答



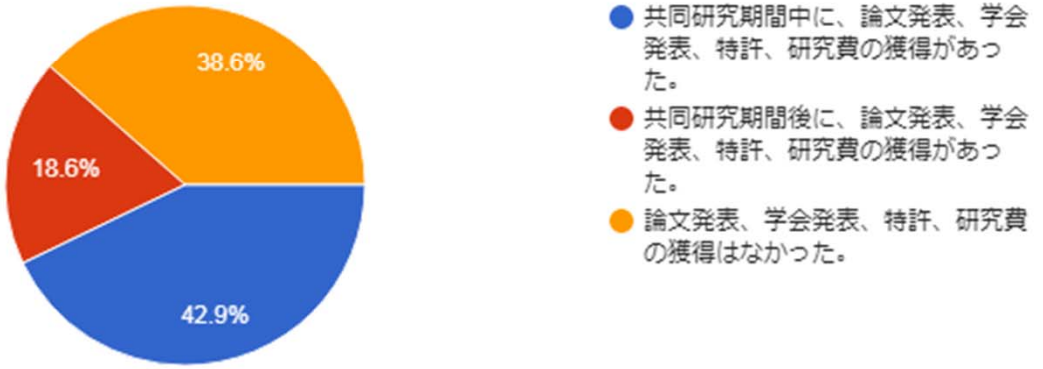
Q18. 当研究拠点の共同研究で魅力を感じるものをお選びください。(複数回答可)175 件の回答



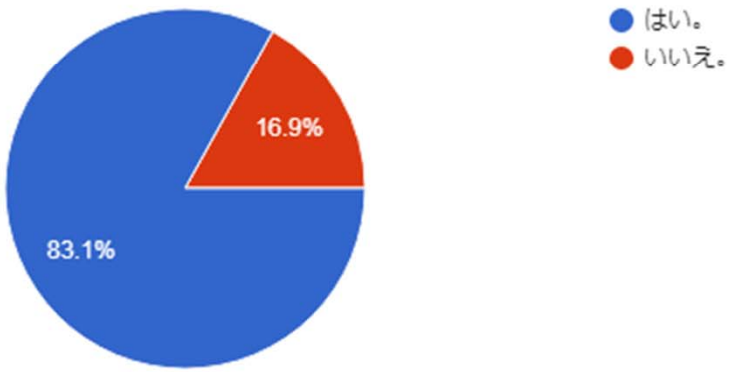
Q19. あなたは当研究拠点を利用されましたか。「はい」とお答えになった方はQ20.以降の設問にお答えください。「いいえ」と答えられた方はQ22にお進みください。
172 件の回答



Q20. 当研究拠点を利用された方にご質問します。共同研究による成果を教えてください。
70 件の回答



Q21. 当研究拠点での共同研究は、若手研究者（ポスドク、学生含む）の育成に有用でしたか。
71 件の回答



Q22. 当研究所の共同研究拠点としての活動について、ご意見、ご要望がございましたらご自由にお書きください。16 件の回答

素晴らしい活動をされていると認識しています。
これからもさらに良い研究拠点としてご発展されることを願います。
いつも暖かいご支援をいただき感謝しかありません。
定年を大幅に延長してほしい

九州の発生再生研究拠点として、益々発展してほしい。
発生研の研究設備、機器を本当に必要とし、新規性、独創性、将来性のある研究課題を引き続き積極的に採択して頂きたい。
発生関連の研究を健康や医療の目的に特化せず、人類の未来を総合的に捉えた目的を持つ研究拠点作りが大事だと思う。
Q12で述べた通りです。
共同研究募集を見落としがちなので、広く告知して欲しい
発生の名のつく研究所なので、その意味でも独自性を伸ばして欲しい。学術研究集会なども開催いただければとも思う。
地理的に遠いので実際に行って行うとなるとハードルが高い。

どのような活動をおこなっているのか、学会等で幅広く広報していただければと思います。
使用可能設備・機器の積極的な開示
益々のご発展を祈念いたします。
活動内容をしらなかったので、もっと広報があれば、共同研究へ積極的に申請できるので良いと思う。
来所を共同研究の必須事項としないほうが、活用しやすいと考えます